



## 平安京研究の考古学者・山田邦和氏と夜光貝研究者・西野望氏による講演会

## －夜光貝がつなぐ平安京と南島文化－

日時：2026年1月12日（月・祝）13：00～16：00

場所：京都橘大学 清史館2階 821教室

定員：120名 ※参加無料、申込不要

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、1月12日（月・祝）、本学文学部歴史遺産学科・准教授 南健太郎と共に、平安京研究の考古学者 山田邦和氏（同志社女子大学特任教授）と、夜光貝研究者 西野望氏（矢掛町教育委員会主幹学芸員）を講師に迎え、平安京と南島（奄美・沖縄地方）文化のつながりを考える講演会およびパネルディスカッションを開催します。

この講演会は、海上交易路で結ばれた平安京と南島の歴史や文化に目を向け、平安時代から受け継がれる螺鈿の工芸技術に触れることを目的に、南准教授が企画し、地域連携活動の一環として開催するものです。

南島特産の夜光貝（ヤコウガイ）は、漆器などに施される日本の伝統的な装飾技法である「螺鈿（らでん）」に欠かせない素材で、近年、平安京の発掘調査で大量の廃棄跡が確認されています。平安京で出土した夜光貝は、地理的に遠く離れた平安京と南島文化のつながりを示す重要な歴史資料となっています。

講演会では、平安京・中世京都の都市構造論を研究する考古学者の山田氏、考古学的視点から夜光貝を研究する西野氏の、それぞれの知見から講演いただきます。講演後は、夜光貝を通して見た平安京と南島の関係性についてパネルディスカッションを行います。また、当日は夜光貝の破片を使ってアクセサリーやキーホルダーを製作する螺鈿体験のほか、京都市が所蔵する平安京出土の夜光貝や、本学が所蔵する南島の遺跡出土品とともに、南准教授が学生と取り組む南島での水中考古学フィールドワークに関する企画展を同時開催します。

## 【講演会概要】

日時：2026年1月12日（月・祝）※受付開始 12：30から

13：00～14：00 山田邦和氏 「平安時代後期の平安京の構造」

14：00～15：00 西野望氏 「通史的にみたヤコウガイ利用に関する考察」

15：00～16：00 パネルディスカッション

コーディネーター・南健太郎（京都橘大学文学部歴史遺産学科・准教授）

パネラー・山田邦和氏、西野望氏

会場：京都橘大学 清史館2階 821教室

講師：山田邦和氏（考古学者/同志社女子大学特任教授）

西野望氏（矢掛町教育委員会主幹学芸員）

定員：120名 ※参加無料、申込不要

対象：一般の方、学生、企業関係者など、どなたでも参加可能

## 【講師プロフィール】

## ・山田 邦和（やまだ・くにかず）

同志社女子大学特任教授。平安京から中世京都にかけての京都の都市構造の変遷を、考古学と文献史学の双方から研究するほか、日本古代の都城と中世の都市について比較研究を行う。

## ・西野 望（にし・のぞみ）

矢掛町教育委員会主幹（学芸員）。奄美大島などの南島の遺跡で出土した夜光貝を自らの手で調査研究し、南島社会における貝の役割や本土との交流関係を追及している。

## ●取材についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp

## ●当日の連絡先

京都橘大学図書館 TEL：075-574-4118



## 【企画展・螺鈿体験 開催概要】

## ●企画展『「海上の道」から探る平安京と南島文化』

開催期間 2026年1月7日（水）～20日（火）  
 開催場所 京都橘大学図書館2階展示コーナー  
 開館時間 ・1月10日（土）、12日（月・祝）  
 8：45～17：15  
 ※他日程は8：45～20：30  
 ※休館日：1/11（日）、1/17（土）、1/18（日）

主な展示 ・平安京出土夜光貝（京都市所蔵）  
 ・原生夜光貝（本学所蔵）  
 ・南島 遺跡出土品（本学所蔵） など約40点

## ●螺鈿体験

開催日時 1月10日（土）13：00～16：00  
 1月12日（月・祝）10：00～12：00  
 開催場所 京都橘大学図書館2階  
 ※参加費無料

開催内容 本物の夜光貝を使用して、レジンでアクセサリやキーホルダーを製作  
 文学部歴史遺産学科・南研究室所属の学生が体験のワークショップを運営



## 【開催場所案内】



## 図書館2F

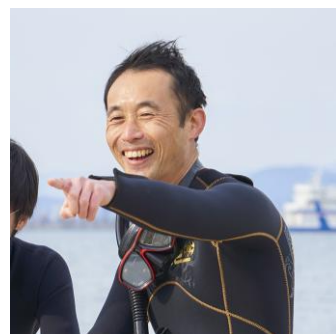
・企画展（1月7日～20日開催）  
 ※休館日：1月11日、17日、18日  
 ・螺鈿体験ワークショップ  
 1月10日、12日開催

## 清史館2F

・講演会（1月12日開催）

## 【南健太郎（みなみ・けんたろう）准教授 プロフィール】

熊本大学大学院社会文化科学研究科歴史学専攻。博士（文学）。  
 東アジアの水中考古学研究を進めている。2022年から水中遺跡の  
 調査に携わり、大津市文化財保護課と連携して“滋賀県大津市坂  
 本城跡”の水陸を調査。幻の城と呼ばれる坂本城の実態解明に挑  
 む。近年は水中ドローンなどの最新機器を使用して、水中遺跡の  
 調査や保護に携わる。



## ●取材についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp

## ●当日の連絡先

京都橘大学図書館 TEL：075-574-4118